

令和３年度第１回寒川町地域福祉計画推進会議（書面会議）の議事に対する意見一覧

寒川町みんなの地域福祉つながりプランの令和２年度実績報告について

No.	該当事業	意見	回答
1	1.（仮称）健康福祉総合センター検討・建設事業	指標で施設建設にかかる取り組みとあるが、担当課として具体的に何年までに建設と言う位置づけ目標を明記すべきでは。	公共施設再編計画によって（仮称）健康福祉総合センター予定地に保健福祉の集約施設建設の構想が示されていますが建物の形状や内部のレイアウト等は現状未定です。
2	1.（仮称）健康福祉総合センター検討・建設事業	今後の方向性が示されましたが、再編計画に基づく建設検討には利用者の声を反映させることが必要です。日頃から利用者に関わっている福祉課・子育て支援課・社会福祉協議会・当事者団体など関係各課・団体の積極的参加が必要だと思います。	さらに、昨今のコロナ禍により、町の財政状況の厳しさが増していることや、集約施設の建設構想をスタートした時点と比較して、前提条件が変化しているため保健福祉施設等の具体的な建設時期についてはお答えできない状況です。建設の際には関係各課等と調整し、町民のご理解が得られるよう、慎重に判断する必要があると考えております。
3	2.包括的支援事業	包括支援事業で、南部は成果を上げていると記載され、指標の目標値を３としているが、次に北部ではなく、高齢者率や相談が多い地域に支援センター等を設置検討すべきでは。	令和2年度に南部公民館内に常設の相談室を開設し成果が上がりましたが、同様の形で北部公民館での実施ができるかどうか、またご提案のように、地域包括支援センターを現在町役場内に設置しているものとは別に設置することも含め、第8次高齢者保健福祉計画期間において検討を進めたいと考えています。
4	3.社会福祉協議会補助事業	コロナ禍において、指標の事業カリキュラム数が実績で伸びているのはなぜか。評価の理由が抽象的では。	コロナ禍で新たな方法で開始した事業もあるので、結果的にカリキュラム数の増になっています。また、評価指標が事業数となっていますので実施した事業数が増となっている点を評価しています。
5	6.地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大	事業6から8まで、指標の目標・実績が「●」になっているが、数値化を図るべきと思うがいかがか。事業8以降の「●」も同様。	目標達成のための過程を重視しています。地域住民が主体となって推進できる力をつけるために支援を続けていますが、結果だけを年度単位で見たとき数値が増えずに減ることも考えられます。今後はタスク（数値目標）とプロセス（過程）の併用した評価を出せるよう検討してまいります。
6	6.地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大	Zoom会議が広がり始めた時期に、Zoom体験会（地域福祉フォーラム）の企画は旬をとらえた良い企画でした。	コロナ禍において、地域活動が大きく制限された中で実施しました。オンライン化についてはメリットだけではなく事前準備が必要等の課題もあります。これからも今求められている取り組みを可能な限り実施してまいります。
7	9.ボランティアセンター事業 10.ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり	事業9と10のボランティア活動について、目標と実績を一元化すべきでは。	ボランティアセンター事業全般における目標と実績報告については今後整理し、タスク（数値目標）とプロセス（過程）の併用した評価を出せるよう検討してまいります。
8	13.ふれあい福祉フェスティバル 19.ふれあい福祉フェスティバル	事業13と19は一元化すべきでは。来場者数と出展者数を目標と実績を２段に記載。	来場者数と出店者数という数値目標そのものも見直し、評価方法を検討していきたいと考えています。出店団体は参加団体の解散等による理由で増減を繰り返しています。多くの団体に参加してもらえるよう個別で声掛けをするといった広報活動は引き続き行ってまいります。
9	16.ボランティア講座	ボランティア講座の２年度実績はオンラインで開催されたが、参加人数の実績等は。	ボランティア活動団体にインタビューや活動風景を動画で撮影し編集したものをYouTube上で公開しています。7団体、合計視聴回数1,029回となっています。動画を見て興味を持ち、ボランティア団体に問い合わせをした方や入会した方などがいます。
10	17.シルバー人材センター支援事業	議事内容から外れてしまいますが、「シルバー」を「シニア」に変えた方が良いと思います。「シルバー」に抵抗がある方もいるのではと思います。	シルバー人材センターの名称は高齢者等の雇用の安定等に関する法律で位置づけられています。
11	17.シルバー人材センター支援事業 18.高齢者の生きがいづくり等支援事業	事業17はシルバー人材センターの指標が登録会員数になっており、実態が理解できるが、事業18のシニアクラブの指標がクラブ数になっている。会員登録数はどうなのか。近年、高齢者を取り巻く諸活動が低迷している中で、新たな施策を検討していくための材料になるのでは。	今後はシニアクラブの会員登録者数にも注視し、多くの高齢者が精力的に活動できるように支援していききたいと考えています。
12	20.小中学校福祉協力校助成事業	コロナ禍ではありますが、障がい当事者、およびご高齢の方との共同作業を行うことの必要性を感じています。福祉施設の形態にもよりますが、1回だけではなく、継続して何か一緒にのものを作り上げていくことが大切かと感じます。 助成してくださるにしても継続した取り組みができるような助成、及びコーディネートをしていただけると良いのではないかと感じます。	地域共生社会実現に向けて、障がい当事者団体やボランティア、社会福祉法人と協働し、福祉教育事業を実施していきます。そこから世代間交流、子ども食堂などの居場所づくりなど、一つの事業にとらわれず、事業を横断的に連携、拡大しながら地域団体と共に地域支援を実施していきます。また、助成だけでなく団体の活動支援やコーディネートも併せて行ってまいります。

13	21.在宅障がい者福祉サービス充実事業 22.障害者自立支援給付事業	福祉サービスは生活に合わせて利用しようとする制約等があり利用できない場合もあります。個別に説明する際に今困っている事を聞き取り、対応できるサービスを伝え、対応できるサービスがない場合は、町の福祉サービスの課題として、町の福祉施策に反映させる必要があると思います。	ご意見をいただいたように個別ケースから見えてくる課題についても整理を行い、必要に応じて福祉施策への反映について検討してまいります。
14	23.子育て支援事業	状況の把握に加えて、専門的なアドバイスが必要な場合には専門的な相談機関の紹介（情報提供）が必要だと思います。	子育て支援センターでは利用者の状況に応じて情報提供をしております。また、必要に応じて、町の関連課を通じてその後の専門機関紹介などへつなげております。
15	29.健康普及事業	講義や機会の場の提供の必要性が高い一方、寒川には安全が確保されている散歩などができるコースが少ないと感じています。歩道が整備されていなかったり、歩道がないところを車に遠慮しながら歩いている方も多く見かけます。車いすを利用されている方は特に不便かと思います。 町内で危険な場所の洗い出しや歩道整備や道路拡張の優先順位をつけるなどの取組は進んでいるのでしょうか。 寒川を散歩するなかで、自分もそうですが、意外と寒川のことを知らないで歩いている方が多いと思います。もしかしたらもう取り組まれているのかも知れませんが、ボランティアさんによる、ガイドツアーなどの取組もされてみてはと思いました。コロナ禍で活動の場をなくされているご高齢の方も多くいらっしゃるのではないかと思います。	町の歩道整備や道路拡張に関しましては、計画の事業には含まれていませんのでお答えしかねますが担当課へご意見をお伝えします。 ボランティアによるガイドツアーにつきましては、寒川町観光協会が行っているものがありますが、町といたしましても頂戴したご意見を参考に町民の健康増進及び地域の活性化に取り組んでまいります。
16	32.避難行動要支援者支援事業	福祉避難所の設置について、早急に整備の必要性があるかと感じています。	福祉避難所につきましては、施設のバリアフリー化や災害時に安全を確保できる立地条件も考慮する必要があるため指定はしておらず、新設施設建築時や既存施設活用を含め検討をしていくこととしています。 災害発生時には各広域避難所における福祉スペースに避難いただくことを原則としますが、広域避難所での対応が困難な場合には、町と「災害時における障害者の緊急時収容施設としての受入れに関する協定」締結をしている施設への避難をすることとしています。現段階では施設を保有する団体等との防災協定締結の更なる拡充を目指しております。
17	32.避難行動要支援者支援事業	避難行動要支援者支援事業の中で、指標にある「個別支援計画の作成支援」とはどのようなものか。R3年5月の同意率50.81%残りの方々は、どのような対応をされるのか。	「個別支援計画」については避難行動要支援者個人が記入する「避難支援希望確認書兼個別支援プラン」のことを指しています。「作成支援」については対象となる方に案内等の通知を発送し記入をしていただくようお願いしています。
18	32.避難行動要支援者支援事業	災害時における避難に要支援者の把握とその名簿は関係者と共有のために重要と同感いたします。同意率（名簿掲載に同意するということでしょうか？）50.81%皆様の努力により年々増えていることと思いますが、まだ半数の方々が同意されていないのは、何か問題があるのかわかりませんが比率を上げるための計画があれば教えてください。	同意率は対象者全体のうち、名簿を避難支援等関係者（自治会や民生委員等）に提供することを同意している人の割合を示しております。同意も不同意もしておらず意思確認が取れない方に関しましては3年に1度、登録の再勧奨をしています。
19	32.避難行動要支援者支援事業	同意率が約半数ということで、引き続き、同意を得ていくことが優先課題かと思います。一方で、7月上旬に発生した大雨のため小出川の氾濫の際に、この事業の取組がこういった形で活用されたのか確認しておきたいところです。また、この氾濫に関して、避難困難な方を含めた地域住民へ緊急的な情報提供がなされたのか確認したいところです。	名簿の活用方法については避難支援等関係者の地域の方々にお任せしており、7月上旬の大雨の際に活用された可能性はありますが、名簿の使用に関しましては現在、把握しておりません。 地域住民への緊急的な情報提供については、防災行政用無線、ホームページ、Twitter及びメール配信サービス等を使用しております。
20	計画全体について	コロナウイルスが早く終息の方向に向かいボランティア活動が安心出来る様になると良いと思います。	-
21	計画全体について	【寒川町みんなの地域福祉つながりプラン】進行管理表に関して、3年毎にプランそのものの見直しは在ることでしょうが、年次計画とは別に基本目標毎にその事業内容に沿った、長期目標（長期計画）、中期目標（中期計画）、短期目標（短期計画）を設け、年次計画の進捗状況報告の際に含めて行動管理表に纏められ管理されたら如何でしょうか。	現行計画の進行管理の方法については具体的に定まっていない状態です。頂戴したご意見を参考に今後の進行管理をしてまいります。
22	計画全体について	前プランの最終評価年になります。各事業の評価は出ていますが、プラン全体としての評価はどのように判断していますでしょうか？R2はコロナの影響を受けた事業に、C目標に向けて遅延となっているように思いますが…。	今回、ご意見をいただいた前計画は各所管のそれぞれの事業について評価を記載しており、全体の評価は定めることが難しいものとなっております。また、コロナ禍を前提とした計画ではないため事業評価が著しく低い場合もございますがご了承いただきますようお願いいたします。